

江口直光 (Naoaki EGUCHI)

教授 (人文学部長 2018. 4. 1)

学位： 修士 (学術)

略歴：

東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了

東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学 (単位取得退学)

専門分野： ドイツ語・ドイツ文化研究

研究課題：

1. リヒャルト・ワーグナーの音楽劇
2. ドイツ・オペラ (音楽劇)
3. ヴァイマル期ドイツ映画

【著書】

- ・『ワーグナー事典』(共著, 東京書籍, 2002. 3)
- ・『アプファルト〈ノイ〉—スキットで学ぶドイツ語』(共著, 三修社, 2015. 2)
- ・『ワーグナーシュンポシオン 2017』(共著, アルテスパブリッシング, 2017. 7)
- ・『知ってほしい国ドイツ』(共著, 高文研, 2017. 9)

【翻訳】

- ・バリー・ミリントン編著『ヴァーグナー大事典』(共訳, 平凡社, 1999. 3)
- ・クリスティアン・マルティン・シュミット著『ヨハネス・ブラームスとその時代』(単訳, 西村書店, 2017. 11)

【論文】

- ・„Kandinskys Idee der Kunstsynthese und seine Wagner-Rezeption” („Medien und Rhetorik:Grenzgänge der Literaturwissenschaft. Beiträge der Tateshina-Symposien 2000 und 2001, herausgegeben im Auftrag der Japanischen Gesellschaft für Germanistik von Tetsuro Kaji u. a. “, Iudicium-Verlag, 2003)
- ・「愛と権力のアンチノミー — 《ニーベルングの指環》に関する一考察 —」(愛知文教大学学術委員会編集・発行『愛知文教大学論叢』第13巻, 2010. 11)
- ・「ジャック・オッフエンバックの《地獄のオルフェ》と《美しいエレヌ》 — 哄笑から陶醉へ —」(愛知文教大学学術委員会編集・発行『愛知文教大学論叢』第17巻, 2014. 11)
- ・「映画『ニーベルンゲン』第1部におけるジークフリート像再考」(愛知文教大学国際文化学会編集・発行『愛知文教大学比較文化研究』第14号, 2016. 11)
- ・「映画『ニーベルンゲン』とワーグナー」(『ワーグナーシュンポシオン 2018』アルテスパブリッシング, 2018. 7)

【その他】

- ・小牧市文化振興推進会議委員 (2013. 7~2017. 6)
- ・日本ワーグナー協会主催リヒャルト・ワーグナー生誕 200 年記念懸賞論文審査委員 (審査委員会—於：国際文化会館, 2013. 7)
- ・第12回日本独文学会賞ドイツ語部門選考委員 (選考委員会—於：関西大学, 2014. 10)
- ・「ドレミとABC」(愛知文教大学公開講座, 於：愛知文教大学国際交流会館, 2016. 4)

【研究テーマ】

オペラ（音楽劇）および映画を中心とする 19 世紀～20 世紀前半のドイツ文化とりわけリヒャルト・ワーグナー（1813 - 1883）の音楽劇およびヴァイマル期ドイツ映画を中心に研究しています。近年はとくにヴァイマル期ドイツ映画における映像と音（音楽）の相関関係，および同映画に対するワーグナーをはじめとするオペラ（音楽劇）の影響に関心を抱いています。そのほか，初級用ドイツ語教科書の作成にも継続的に携わってきました。